



一般社団法人日本計装工業会

ご案内



持続可能な社会の構築に貢献する 技術者・技能者の育成を目指して

一般社団法人日本計装工業会
会長 土井 義宏

計装技術は、今日まで産業の進展とともに、多種多様かつ急激に変化するニーズに応え、社会を支える基幹技術のひとつとして、生産性向上に資するため、きめ細やかな付加価値とその信頼性を高めてまいりました。

近年では地球環境問題や省エネルギー・省力化達成に資する技術として高度化し、さらには、スマートシティにおける地域エネルギー管理等の要として適用分野を広げながら、計装技術は目覚ましい成長を続けております。また、サプライチェーンの拡大、規制緩和や情報通信技術の進展からもたらされる国際的なグローバル化社会における劇的な変化に追従していかなければなりません。

「一般社団法人日本計装工業会」は、こうした社会ニーズに応えるため、即戦力となる技術者・技能者向けの勉強会・講演会等を開催することにより、最新の技術・技能を習得しながら設計・施工能力を向上させるだけでなく、システムを俯瞰し適切な提案力・実行力を発揮できる人材の育成を目指しています。

また、設計品質の確保ならびに計装工事施工の均質化など計装工事全般における技術力・品質の向上に役立てるよう設計・施工の標準化に取り組み、出版を通じて周知を図ってまいります。さらには、海外で活躍する企業や技術者支援のため、刊行図書の英語版編集などの環境整備にも取り組んでまいります。

計装工事業の重要性が高まる中、「1級計装士」、「登録計装基幹技能者」、「計装工事能力評価」は国の重要な資格制度として位置づけられており、当工業会は登録計装試験・基幹技能者講習の実施機関および能力評価実施団体として、計装技術者・技能者育成の大きな使命を担っております。

これからも、日本計装工業会は、持続可能な社会の更なる発展のために努力してまいります所存でございます。本会の事業活動の趣旨をご理解の上、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

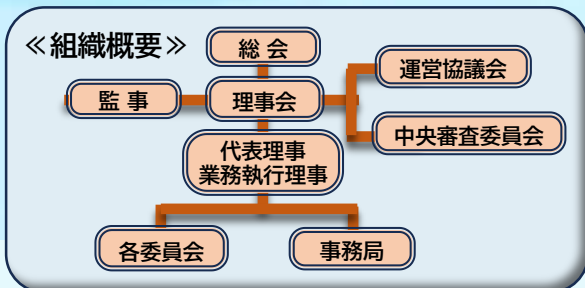
一般社団法人日本計装工業会 主な事業

1. 調査研究事業（技術書の整備、計装工事業の実態調査、計装工事の受注動向調査）
2. 技術審査事業（登録(1級)計装士・2級計装士、登録計装基幹技能者、計装工事技能者能力評価の実施）
3. 技術維持講習事業・技術講習事業
4. 人材育成事業（勉強会、講演会、施設見学会の開催）
5. 広報・出版事業（機関誌「計装技術」発行、メールマガジン発信）

一般社団法人日本計装工業会 あゆみ

1957年	「日本計装工業懇談会」結成	1999年	6月	創立25周年記念式典
1959年	9月 「計装と工業」創刊	2000年	4月	ホームページによる広報活動開始
1973年	12月 「計装業者懇談会」結成	2002年	6月	技術書「日本計装工業会(標準)」の体系化
1974年	3月 任意団体「計装工業会」設立	2004年	2月	計装士合格者が累計20,000名を超える
1974年	6月 「日本計装工業会」設立	2004年	5月	創立30周年記念式典
1975年	1月 「日本計装工業会会報」創刊	2005年	3月	「計装マニュアル」発行
1976年	3月 「計装工事マニュアル」発行	2008年	11月	「ビル計装ポケットブック」発行
1976年	6月 労働大臣認定による計装技能審査制度発足	2012年	4月	一般社団法人へ移行
1977年	7月 第1回技術審査学科試験実施	2015年	2月	計装士合格者が累計30,000名を超える
1980年	12月 社団法人「日本計装工業会」設立	2016年	12月	「計装技術者のためのプラント計装入門講座」発行
1981年	5月 機関誌「計装工事」創刊	2017年	10月	「一般社団法人日本計装工業会のご案内」英文版発行
1984年	4月 建設大臣認定による計装士技術審査に移行	2021年	6月	「計装技術講習会」のオンライン講習会開催
1984年	8月 第1回計装士技術審査試験実施	2021年	9月	「計装士技術維持講習会」会場及びオンライン講習会開催
1986年	12月 第1回計装工事業ビジョンの策定	2023年	7月	「計装工事業における技能開発計画」策定
1989年	2月 計装士合格者が累計10,000名を超える	2023年	11月	「計装工事」が登録基幹技能者として国土交通省より認証
1993年	4月 「計装工事業における人材育成指針」発表	2024年	2月	「CCUS登録技能者能力評価制度」開始
1997年	3月 「計装士会」発足	2024年	5月	第1回登録計装基幹技能者講習実施
1997年	10月 第2回計装工事業ビジョンの策定	2024年	6月	創立50周年記念式典
1998年	6月 1級計装士 建設業法に基づく主任技術者(電気/管)認定			

～ 計装技術の革新・レベル向上のために ～



技術と経営にすぐれた企業をめざして
技術革新の時代に対応する
計装技術者・計装技能者の育成

中央審査委員会

学識経験者等で構成し「登録計装試験」の試験委員としての役割、計装士技術審査及び登録計装基幹技能者認定試験における判定のほか、これらに関する基本事項を審議しています。

計装工業会発展に資する政策立案

《政策委員会》

行政機関からの諮問及びこれに対する要望・建議に応え、又、関係諸団体との交流促進を通じて、一般社団法人日本計装工業会の健全な発展と地位向上を図ることを目的としています。
(活動内容)

- ・政策立案全般にわたる事項
- ・計装士会への支援
- ・優秀施工者(建設マスター)国土交通大臣顕彰候補者の選考

計装技術者の育成と技術の維持向上へ 《研修委員会》

計装工事の設計手法・施工技術など計装技術の普及とレベルアップをめざし、現場で役立つ実用書の発行と「計装士」技術審査及び技術維持のための支援活動を行っています。

- (活動内容)
- ・計装士技術維持講習会の開催
 - ・計装技術講習会の開催
 - ・「計装マニュアル」の発行

会員各社の合理化支援を

《経営委員会》

会員各社の企業経営の基盤強化、近代化に資するための支援を行っています。

- (活動内容)
- ・若手技術者及び技能者を対象とする勉強会の実施
 - ・時代に即した講演会の開催
 - ・会員各社の業態調査と結果報告

技術者の育成・レベルアップを目指して 《検定委員会》

計装士技術審査業務の取りまとめを実施し、計装士の輩出及び育成・レベルアップを図ります。

- (活動内容)
- ・登録(1級)計装士及び2級計装士の学科試験・実地試験の問題案作成、試験の運営・実施・採点
 - ・問題案作成のための技術情報の収集・整理・保存

計装工業会事業を広くPR

《広報委員会》

計装工事業の発展に資するための広報活動を行っています。

- (活動内容)
- ・新聞、雑誌への当工業会事業の広報活動
 - ・パンフレット発行
 - ・計装士技術審査及び維持講習会の年度実施計画の周知
 - ・ポスター発行、発送
 - ・ホームページによる当工業会の紹介
 - ・メールマガジンの発行

技能者の育成・レベルアップを目指して 《基幹技能者委員会》

新規認定講習及び更新講習を実施し、登録計装基幹技能者の輩出及び育成・レベルアップを図ります。

- (活動内容)
- ・登録計装基幹技能者における新規認定講習及び更新認定講習の実施と認定試験問題の原案作成及び採点
 - ・登録計装基幹技能者講習に関する企画、学科試験・実地試験の問題案作成、講習会及び試験の運営・実施・採点

計装工事技術の標準化を

《技術委員会》

高度化する計装工事に対応するため、設計・施工・検査の標準化を推進及び技術書等の発行、各団体への技術的助言を行っています。

- (活動内容)
- ・「日本計装工業会標準」、「計装技術書」の発刊
 - ・計装に関する国際規格について調査
 - ・計装工事に関連する技術資料の収集配布

会員各社との強い連携を

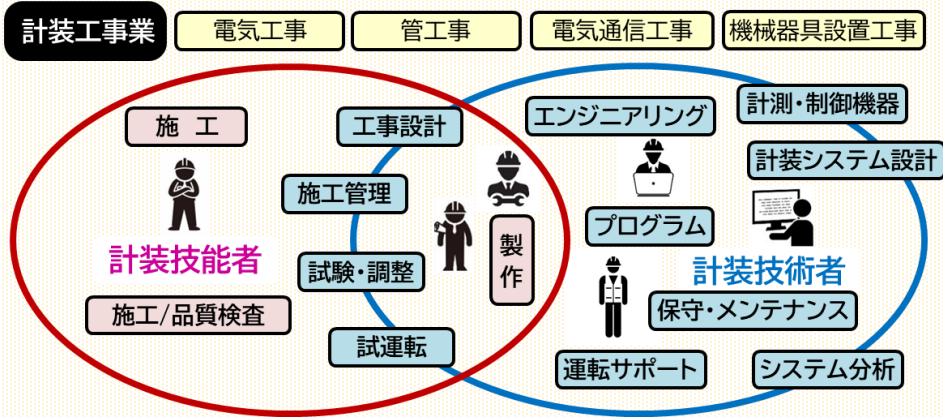
《機関誌編集委員会》

会報「計装技術」(季刊)を発行して会員各社の経営サポート、技術情報の共有、会員相互の連携意識の醸成に努めています。

- (編集内容)
- ・計装工業会の行事、各委員会の活動報告と紹介
 - ・業界の動向、技術関係の情報

一般社団法人日本計装工業会の事業範囲と計装技術者・技能者

- 計装工事業の健全な進歩発展を通じ、広く社会に貢献 -



計装・計装システムについて

計装とは

計装とは「対象とするシステムの運転及び管理を具現するために、対象設備機器の計測・制御・管理などの方法を考慮した、制御及び監視のための装置を装備する。」技術です。

計装システムとは、「あらゆる産業に装備されている設備(工場、施設、ビル内の監視制御設備)において、設備が高度な機能を発揮し、運転・管理の省力化、省工化、効率化、品質・安全の確保を実現させるため、適切な計測機器、制御機器、監視制御装置を計画し、選定・装備し、運転管理するシステム」であり、計装はこの実現を目的として高度に発展してきました。

近年、監視制御、生産情報処理に加え、経営情報レベルへの階層化・統合化と同時に、ICTの活用及びIoT、AIの導入による更なる進化を遂げています。

計装工事

計装工事とは、計測機器、制御機器、監視制御装置らが計装システムとして適切に性能を発揮できるよう、それぞれの仕様と特性を考慮して行う施工(建設工事)です。



計装工事における計装技術者・計装技能者の重要性

計測・制御システムを具現化するための計装工事業務手順

《計装工事の業務フロー》

◆ 計装の工事設計

温度、圧力、流量などの計測機器と調節弁類及び場所の選定、工事計画

◆ 計装工事の施工

コンピューター、制御盤、測定器、調節弁などの設置。計測機器類の配線

◆ 検査(試験・調整)

配線の確認、計器単体の動作確認、制御システムの試験・調整

◆ 計装メンテナンス

測定器、調節弁などの定期的な分解清掃、試験・調整

計測・制御システムを担う「計装工事」は、計装を取り巻く幅広い分野の技術知識と施工に対応した工事(電気・管・機械器具設置・電気通信工事)を網羅する施工管理能力が必要となります。

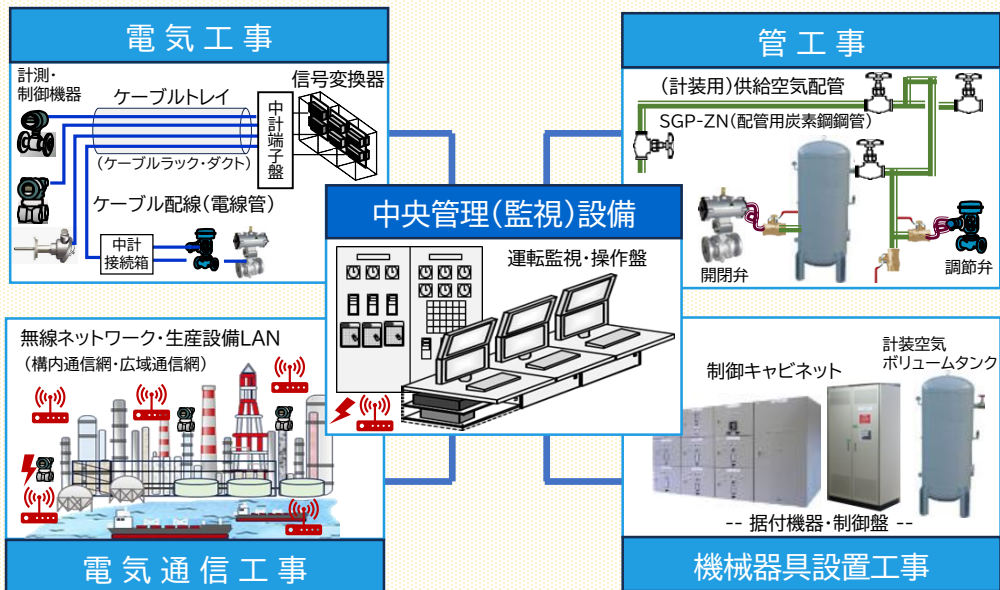
・**計装技術者**は、計装工事を適正に実施するため、施工計画の作成、工程管理、品質管理その他の技術上の管理及び施工に従事する者の技術上の指導監督等の職務を行う必要があります。

・**計装技能者**は、熟練した技能、豊富な経験、現場での高いマネジメント能力が必要となります。それぞれの技術・施工知識と施工管理を各工事会社が分業(分担)して施工した場合、以下の問題が発生する恐れがあります。

- 工事所掌範囲での工事計画・工事設計及び工程ごとの調整が煩雑となる
- 各機器の総合試験時に、工事範囲ごとに、毎回、関係者の立ち会いが必要になる
- 総合試験で不具合等が発生した際、責任範囲の不明確や不具合箇所発見に手間取る
- 施工標準の不統一により、一部の性能劣化(施工品質の低下)が全体機能の低下となる

計装工事

計測制御機器、監視制御装置、これらの配管配線を工作物に設置、又は試験・調整を行い、各種設備を統合監視する計装システムとして稼働させるための工事



計装技術とその関連工事は、複雑・多岐に渡っています。計装技術者は複数工種のマネジメントを行う高度な技術者であり、施主・元請との関係や下位の協力会社との関係においては、施主・元請が策定する方針等(施工計画書等)を理解した上で、その役割を担います。

「計装」は設備の生産品質、稼働効率、安全確保に大きく関わることから、「計装工事」を管理し、安全・安心で高品位な施工を行うには、「計装技術者」、「計装技能者」の存在が重要です。

技術者・技能者の育成を目指す《技術審査事業》

∞ 計装士 ∞

計装士制度について

1976年(昭和51年)に計装技能審査制度が労働大臣認定として発足し、1984年(昭和59年)からは建設大臣認定の「計装士技術審査」へ移行しました。1998年(平成10年)に1級計装士が建設業法による主任技術者要件(電気工事・管工事)として認められ、2006年(平成18年)4月の建設業法施行規則改正に伴い、「1級計装士試験」を国の制度に組み込まれた「登録計装試験」として行うことになりました。

累計合格者は、2004年度(平成16年度)に2万名、2014年度に3万名を超え、2023年度(令和5年度)には、3万7千名を超え、多くの「計装士」が活躍しています。

1級計装士：国の制度に基づき一般社団法人日本計装工業会が実施する「登録計装試験(1級計装士技術審査)」に合格した者

2級計装士：一般社団法人日本計装工業会による「2級計装士技術審査」に合格した者

《計装士試験》

1級計装士とは「計装工事における上級の技術者が、通常有すべき知識及び技術の程度を有する者」と定義されています。技術審査に合格すると、合格証明書と登録証が交付され「1級計装士」の称号が与えられます。

受験資格は1・2級とも学歴等の制限はなく、計装工事の設計・施工・管理に関する実務経験年数のみで受験ができます。

《計装士技術維持講習》

「計装士技術維持講習」は、計装士の資格を取得した方を対象にして、5年ごとに資格登録の更新及び新しい計装技術知識の取得等を目的とした講習です。講習会は、毎年、各地区(10月から12月の期間中)の1日間での受講となります。

∞ 建設マスター・建設ジュニアマスター ∞

制度について

国土交通省では、現場の第一線で「ものづくり」に直接従事している方の中から、特に優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている建設技能者の方を対象に、1992年(平成4年)から「優秀施工者国土交通大臣顕彰(建設マスター)」制度を実施しています。

また、2015年度(平成27年)より、次世代の建設現場の担い手を確保・育成すること、建設マスターに達するまでの技術・技能の向上を図ることを目的として、「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰(建設ジュニアマスター)」が新たに設けられました。

《計装工業会の取り組み》

計装技能者の技能レベル向上と社会的評価・地位確立を図るため、「建設マスター」、「建設ジュニアマスター」について、会員各社、及び当該協力会社の推薦を推進しています。推薦基準は国土交通省で定める顕彰基準および計装工事能力評価基準の保有資格要件をそれぞれ(建設マスター、ジュニアマスター)、満たしている必要があります。1992年度(平成4年)から2024年度(令和6年)までの暦年累計顕彰人数は、建設マスター;96名、建設ジュニアマスター;6名 合計102名となり、優秀な技能者の確保・育成による顕彰者を輩出しています。

∞ 登録計装基幹技能者 ∞

登録計装基幹技能者講習について

優秀な計装工事技能者の資格「登録計装基幹技能者」の認定が2024年度より新たに始まりました。2023年(令和5年)11月、国土交通省より「計装工事」が登録基幹技能者として認証されたことから、当工業会が開催する「登録計装基幹技能者講習(受講要件有)」の修了者は「登録計装基幹技能者」として認定されます。

登録基幹技能者は、熟練した技能、豊富な経験、現場での高いマネジメント能力のある技能者であることから、「登録計装基幹技能者」については、実務経験により電気、管、機械器具設置、電気通信いずれか又は複数の工事における主任技術者要件を満たす者として認められます。

《認定講習》

・認定講習は、建設業法施行規則第18条の4の規定に基づき実施する認定評価を行うための講習で、毎年5月に「2日間講習」として全国5ヵ所程度で同時開催します。また、講習講義終了後に、認定試験を行います。

・受講申込には、以下の要件を満たしていることが必要です。

- (1)計装工事における実務経験が10年以上 (2)職長・安全衛生責任者教育を修了して、3年以上の職長経験を有している
- (3)別に定める資格取得、技能講習、特別講習修了者であること

・2024年度「登録計装基幹技能者」に認定された方は81名となりました。

《登録計装基幹技能者 更新講習》

「登録計装基幹技能者 更新講習」は、登録計装基幹技能者資格を取得した方を対象にして、5年ごとに資格登録の更新及び関係法令の改正内容、施工管理等の変更内容などの取得等を目的とした講習です。

・更新講習は、毎年1回、通信教育での受講、および能力確認試験となります。

・2028年度が第1回更新講習(2024年度の合格者が対象)となります。(※詳しい内容は2028年に案内となります。)

技術者・技能者の育成を目指す《技術審査事業》

∞ CCUS登録 技能者能力評価制度 ∞

技能者能力評価について

国土交通省では、建設キャリアアップシステム(CCUS)に登録・蓄積される情報を活用して、建設技能者の技能について客観的評価を行い、技能に見合った評価で処遇を改善させ、経験や技能を職種ごとに明らかにすることで、キャリアパスの明確化を図り、若年層の入職拡大・定着促進を図る目的として、2019年(平成31年)「建設技能者の能力評価制度に関するガイドライン」が示されました。

計装工職種は、CCUS職種に2023年(令和5年)10月に「計装工事」が追加され、同年12月に「計装工事」に従事する方々の能力評価基準とその実施機関として告示に基づき認定され、2024年(令和6年)2月から計装工事の能力評価を実施することになりました。

この能力評価認定基準により、初心者相当のレベル1から熟練のレベル4まで、この制度を活用した計装技能者の適正な評価、育成が期待されます。

《計装工事技能者能力評価基準》

計装工事は、工場・プラントの生産設備、建築設備における空調・電力監視、防犯・弱電設備等におけるビル監視設備工事など、多様な職種での施工を行うため、計装工は多能工となっています。計装技能者のCCUS対象職種では、電気(通信含む)、配管工、ダクト工、設備機械工の部門職種ごとに計装工の対象業種としています。

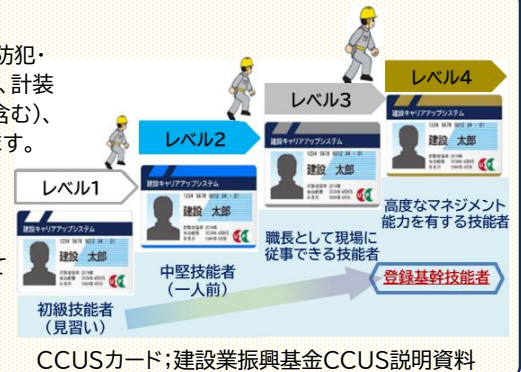
・能力評価レベルは、「能力評価基準【計装】」に準じています。

《能力評価のレベル判定申請》

・計装工事の能力評価レベル判定は、(一社)日本機械土工協会に事務委託していますので、申請手順を確認し申請手続きをお願いします。

・CCUS事業者登録および技能者登録を完了している方が申請可能です。

・レベル判定申請者は、所属事業者等(実務経歴を証明できる方)となります。

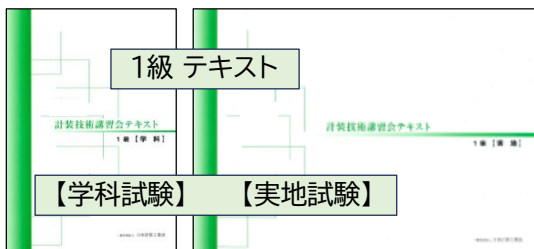


《若手技術者・技能者のレベル向上》

計装技術講習会

「計装技術講習会」は、これから計装士の資格試験を受験する方を対象とした試験対応の講習会となります。

- ・受講に際しては、1級計装士、2級計装士試験に対応した【学科試験】、【実地試験】テキストを基に行います。
- ・講習会は、毎年6月から7月に2日間で学科試験と実地試験について、過去の出題問題を中心に解説します。
- ・プラントまたは建築物の試験選択に対応するため、それぞれ講習内容も選択方式としています。



計装勉強会

1988年(昭和63年)に人材育成の観点から勉強会を開始し、技術変革時代における「企業経営に資する技術者育成」として、若手・中堅技術者・技能者向けの「計装システム設計・施工能力向上」と「最適なシステム構築能力の習得」を目的に、年4回程度「最新計装技術勉強会および講演会」を開催しています。近年は「Zoomでのオンライン勉強会・講演会」及び技能者向けの講演会も実施しており、延べ参加人数は1万名、開催回数は200回を超えています。

- ・参加対象者：会員企業の若手・中堅技術者・技能者で自己啓発に意欲のある方
- ・参加費用：無料(会場までの交通費およびネット接続料は自己負担)
- ・募集人員：300名程度

計装技術の革新及び計装技術者・技能者の育成・レベル向上のため、各種技術書籍を出版しています

《計装工事の技術書を「標準」として体系化》

日本計装工業会標準(AJIIS); Association of Japan Instrumentation Industries Standard

共通

番号	標準名	書籍の内容
1	計装工事に用いる計量単位 AJIIS-C-01-2001	計量法に基づく計装工事に関わる計量単位を規定したもの

プラント編

番号	標準名	*英語版	書籍の内容
2	計装工事の範囲 AJIIS-P-11-2024	AJIIS(E) P-11-2019	計装工事の範囲、業務フロー、他部門との関係を説明したもの。又、関係する法規・資格類を工事種別に一覧表を加えたもの
3	計装工事設計 AJIIS-P-21-2022		計装工事設計要領とそれに関する図記号、計算式等を示したもの
4	計装工事標準図 AJIIS-P-23-2016	AJIIS(E) P-23-2016	計装工事部品及び施工要領図(ティピカル)を集めたもの
5	計装工事施工 配線 AJIIS-P-31-2023		計装配線工事の施工要領を示したもの
6	計装工事施工 空気配管 AJIIS-P-32-2015	AJIIS(E) P-32-2021	計装空気配管工事の施工要領を示したもの
7	計装工事施工 導圧配管 AJIIS-P-33-2015	AJIIS(E) P-33-2020	計装導圧配管工事の施工要領を示したもの
8	計装工事施工 据付 AJIIS-P-34-2017		計装機器の据付工事の施工要領を示したもの
9	計装工事施工 光システム AJIIS-P-36-2020	AJIIS(E) P-36-2022	計装に関する光システムと工事の施工要領を示したもの
10	計装工事施工監理 AJIIS-P-41-2018		計装工事全般の施工監理を示したもの
11	計装工事積算 AJIIS-P-51-2021		計装工事の積算要領を示したもの
12	計装工事試験・検査 AJIIS-P-61-2016	AJIIS(E) P-61-2018	計装工事の試験検査要領及び工事に用いる資材の受入検査要領を示したもの
13	計装工事試運転準備 AJIIS-P-62-2018	AJIIS(E) P-62-2023	計装ループ試験及び試運転準備の要領を示したもの
14	計装設備(工事)保全 AJIIS-P-71-2019		プラントに設置された計装設備(工事)の点検保全作業を示したもの

建築物編

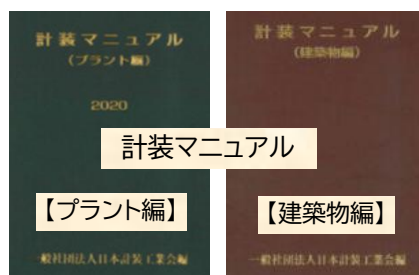
番号	標準名	書籍の内容
15	計装工事標準仕様書 AJIIS-B-01-2023	計装工事の設計から施工、検査・試験までを計装工事標準仕様書として纏めたもの
15	計装工事標準仕様書 AJIIS-B-01-2023	計装工事の設計から施工、検査・試験までを計装工事標準仕様書として纏めたもの
16	計装工事の範囲 AJIIS-B-11-2023	計装工事の範囲、業務フロー、他部門との関係を説明したもの。又、関係する法規・資格類を工事種別に一覧表を加えたもの
17	計装工事設計 AJIIS-B-21-2022	計装工事設計要領とそれに関する図記号、計算式等を示したもの
18	計装工事図面作成 AJIIS-B-22-2016	計装工事図面の作成要領及び部品図、参考図を示したものに計装工事標準図を加えたもの
19	計装工事施工 配線 AJIIS-B-31-2024	計装配線工事の施工要領を示したもの
20	計装工事施工 空気配管 AJIIS-B-32-2018	計装空気配管工事の施工要領を示したもの
25	計装工事積算 AJIIS-B-51-2021	計装工事の積算要領を示したもの
26	計装工事試験・検査及び試運転調整 AJIIS-B-61-2016	計装工事の試験検査要領、工事に用いる資材の受入検査及び計装ループ試験・試運転を示したもの
27	計装設備保全 AJIIS-B-71-2019	設備の保全、計装設備も含んだ計器保全診断要領を示したもの

*海外で活躍する企業や技術者支援のため「日本計装工業会標準(AJIIS)英語版(E)」を提供

《計装技術者のための技術書》

書籍名称【発行年】	書籍の内容
計装マニュアル(プラント編) 【2020年】	令和2年版「計装マニュアル(プラント編)」を最新の法令・規格へと見直し、構成項目に再編集等も行い一層充実させたもの。計装士受験者は必読。
計装マニュアル(建築物編) 【2016年】	平成22年版「計装マニュアル(建築物編)」を最新の法令・規格へと見直し、構成項目に再編集等も行い一層充実させたもの。なお、計装に関する基礎的な事項はプラント編を参照ください。計装士受験者は必読。
プラント計装工事のすすめ方 -計装工事標準(AJIIS)の活用- 【2003年】	プラント計装工事の各段階作業の進め方を、設計施工の標準的手法や基準を示した「日本計装工業会標準」の適用・活用の仕方に触れながら、図や表を随所に取り入れて分りやすく和英対訳で解説した。計装工事技術者必携の実務書。
ビル計装ポケットブック 【2019年】	建築物(ビル)計装工事従事者の業務の手引きとして、設計計画、施工、試験・検査等の業務を、何時でも、どこでも、持ち歩き閲覧できるように手帳サイズのポケットブックとして纏めた実務書。
計装技術者のためのプラント計装入門講座 【2016年】	これから計装技術を学ぼうとする方、また、計装エンジニアとしてまだ日の浅い方が、幅広い知識と高度な技術を要求される計装エンジニアを目指す第一歩として必要な知識を、「計装とは」から始まり「プロジェクト・他部門との関係」「計装システム」「計装機器」「計装工事」「検査試験」について実務に重点を於いて纏めたもの。
プラント計装工事の設計 【2024年】	計装工事設計は他部門と連携しパソコンを使用して行われることが一般的であるが、パソコンを使用しない手設計について、計装工事設計に必要な「装置・機器配置図」や「配管図」などの図面を示し、これらから工事設計に必要な諸元を読み取り、設計手順や注意点等を解説し、設計プロセスに必要な図面の作成方法や書式、表記方法、設計結果としての図面などを掲載。また、計装工事資材の拾い出し方法についても解説。
建築物計装設備の用語集 【2024年】	計装システムに捕らわれず、設備名称・設計用語(含む制御動作等)・施工用語・施工に使用する資材/材料・法規/法令等の使用頻度や重要度が高く、知っておくべき用語を厳選しポケットブックサイズに纏めたもの。
計装技術講習会1級テキスト 【学科試験】 *毎年度発行	学科試験の問題演習及び前年度の学科試験問題と解答例で1級学科試験受験者のための参考書。
計装技術講習会1級テキスト 【実地試験】 *毎年度発行	過去の実地試験問題と解答例で1級実地試験受験者のための参考書。
計装技術講習会2級テキスト 【学科試験】 *毎年度発行	学科試験の問題演習及び前年度の学科試験問題と解答例で2級学科試験受験者のための参考書。
計装技術講習会2級テキスト 【実地試験】 *毎年度発行	過去の実地試験問題と解答例で2級実地試験受験者のための参考書。
会報「計装技術」 (年4回;7・10・1・3月)	業界の動向、技術関係の情報、各委員会が実施している活動の紹介と報告

詳しい書籍の内容は
日本計装工業会ホームページの書籍販売項目、購入ガイドを掲載していますので参照ください。





こんなところにある計装・どこにでもある計装

あらゆる産業・設備に装備されている計装システム・計装工事

計装システムは、工場・プラントにおける生産設備、建築設備における空調制御、電力監視、防犯・弱電設備等のビル監視制御設備など、あらゆる産業に装備されています。
計装工事はそれを具現化する専門工事業(専門企業集団)です。

計装工事の分野別一覧

施設区分	計装工事の分野区分
工場	石油精製プラント、石油化学プラント、製鉄所、セメント工場、食品工場、製薬工場、車両組立工場、半導体・家電等組立工場
建築物	商業施設、事務所ビル、マンション、劇場、病院、ホテル、ショッピングセンター、大空間娯楽施設(野球場・サッカー場等)
施設	官公庁施設、上下水道施設、空港施設、物流施設、自動倉庫、ごみ焼却施設、再エネ施設(太陽光発電・風力発電)、火力・原子力等発電所
その他	土木・建築物の付帯施設(港湾・道路・トンネル、共同溝等)



《計装士会》

【計装士会とは】

計装士会は「計装士」の技術向上・技術交流・情報交換の場を目的として、『一般社団法人日本計装工業会』から独立運営とした任意団体で、1996年(平成8年)に発足しました。

《主な活動》

- ・技術向上に向けた研修会・施設見学会・懇話会等を全国の7地区で開催
(東北・北海道、関東・甲信越、中部・北陸、近畿、中国、四国、九州・沖縄)
- ・会報「計装コミュニケーション」(年2回発行)
- ・ホームページによる各種技術資料や情報の提供
- ・社会的地位向上を目指した貢献活動

《会員資格・会費》

- 1級、または2級計装士資格取得者であれば、どなたでも任意に入会可能です。(個人会員)
- ・年会費:年3,000円(入会金無料)



*詳しくは、URLより、ご覧下さい。 <https://www.keisoshikai.gr.jp/>

一般社団法人日本計装工業会 入会のご案内

1. 会員の種類

(1) 正会員

本会の目的に賛同し、建設業法による電気工事業、管工事業、機械器具設置工事業及び電気通信工事業のいずれかの許可を受け、計装工事業を営む法人及び個人。

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助する者。

2. 入会金

(1) 正会員……………100,000円 (2) 賛助会員……………なし

3. 会費

(1) 正会員 1口 月額10,000円 (2) 賛助会員 1口 月額10,000円

4. 入会の申込方法

- ・本会所定の入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局にお申込下さい。
- ・企業パンフレットなどご提出いただく場合があります。

5. 会員の登録

入会の申込書ならびに必要な書類にもとづき理事会で入会が承認され、入会金及び当月の会費の受納をもって登録されます。

6. 会員の特典

- ・計装技術講習会受講料の割引
- ・各種講演会、講習会、見学会の案内
- ・機関誌「計装技術」の配布
- ・行政通知等の周知
- ・計装マニュアルの会員価格での販売

一般社団法人日本計装工業会 会員リスト

正会員(123社)

2025年2月3日現在

(株)あいはら	京都EIC(株)	(株)昭電	(株)中電工	日本電設工業(株)
アイ・ビー・テクノス(株)	(株)協立エンジニアリング	昭和アステック(株)	中電プラント(株)	野田電気設備(株)
朝日エテック(株)	(株)さんでん	(株)昭和電業社	(株)中部プラントサービス	パナソニックEWエンジニアリング(株)
(株)朝日工業社	国光施設工業(株)	ジョンソンコントロールズ(株)	千代田エンジニアリング(株)	(株)ピー・エム・エス
旭国際テクノイオン(株)	栗原工業(株)	伸栄技研工業(株)	千代田計装(株)	日比谷総合設備(株)
浅海電気(株)	(株)クリハラント	(株)新興計器製作所	千代田エクスワンエンジニアリング(株)	(株)福井サーボ
アズビル(株)	桑名電気産業(株)	新光電装(株)	(株)テクノ菱和	富士電機E&C(株)
尼崎電機(株)	(株)京浜コーポレーション	新日本空調(株)	東海電機(株)	扶桑電気工業(株)
FAシステム電機(株)	興安計装(株)	新日本計装(株)	東海電設(株)	豊栄電機(株)
エムイーシーテクノ(株)	(株)コーギケン	新菱冷熱工業(株)	(株)東京エネシス	(株)北海電工
(株)オーテック	(株)弘電社	須賀工業(株)	東テク(株)	北陸プラントサービス(株)
OKIクロステック(株)	向陽電気工業(株)	住友電設(株)	東都計装(株)	北海電気工事(株)
(株)沖電システム	コスモエンジニアリング(株)	株式会社セイブ	東邦電気工業(株)	三菱電機ビルソリューションズ(株)
オリックスファシリティーズ(株)	(株)サンエツ	第一工業(株)	東北発電工業(株)	ヤママ工業(株)
(株)沖縄計装	三機工業(株)	(株)大気社	東洋計測(株)	(株)山口電気機械工務所
門倉電機(株)	山九プラントテクノ(株)	大悟工業(株)	東洋熱工業(株)	(株)ヤマト
川北電気工業(株)	三建設備工業(株)	ダイダン(株)	(株)トーエネック	(株)ユアテック
(株)川瀬電気工業所	(株)三興	(株)大電	(株)内外電業社	裕幸計装(株)
川惣電機工業(株)	三光設備(株)	太平電業(株)	(株)ナカケン	ユウホー設備(株)
川本工業(株)	(株)サンテック	高砂熱学工業(株)	夏目電気工業(株)	横河ソリューションサービス(株)
(株)かんでんエンジニアリング	三宝電機(株)	(株)高田工業所	西日本プラント工業(株)	横浜計装(株)
(株)関電工	JFEプラントエンジ(株)	千葉電気工事(株)	日新明弘テック(株)	(株)四電工
(株)木内計測	J-POWERジェネレーションサービス(株)	中央計装(株)	日鉄テックスエンジ(株)	渡辺技研工業(株)
九北電機工業(株)	四国計測工業(株)	中央電気工事(株)	日本計測工業(株)	
(株)九電工	四国電気工業(株)	中央電工(株)	日本電技(株)	

賛助会員(22社)

2024年10月1日現在

(株)アールアンドアール	(株)キクチ	(株)竹田特殊電線製造所	日揮(株)	三菱電機(株)
(株)イーエックス・こくさん	島田電機(株)	千代田化工建設(株)	(株)フジキン	(株)明和テクノス
SMC(株)	新コスモス電機(株)	豊中計装(株)	(株)フジクラ・ダイヤケーブル	
エンドレスハウザージャパン(株)	(株)制御技研	長岡特殊電線(株)	富士電機(株)	
沖縄オートメーション(株)	泉州電業(株)	(株)西日本計測	豊楽興産(株)	



【交通のご案内】

アクセス(地図)



- JR総武線
秋葉原駅 [昭和通り口] 徒歩7分
- 都営新宿線
岩本町駅 [A4出口] 徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線
秋葉原駅 [4番出口] 徒歩5分

一般社団法人日本計装工業会

〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル4階

◎TEL:03-5846-9165 ◎FAX:03-5846-9166

◎URL <https://www.keiso.or.jp/> ◎E-mail : ajii@keiso.or.jp